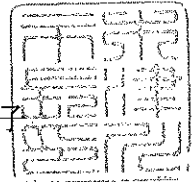




0木建第271号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

木津川市長 河井規子



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平素は、木津川市の行政にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、貴職から平成20年9月19日付（国道企第37号）で依頼のありました標記について、別添様式①から④のとおり回答しますので、よろしくお願いいたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

京都府 木津川市

- ・ 地方のまちづくりは、自治体が策定する総合計画を基にして実施されることから、その地方の課題等を整理して、その地方の実情に見合った道路整備を実施することが必要と考えます。
- ・ 課題を効率的に解決する観点から、効果の高いところについて優先的に施策を実施することも大切であるが、地域格差が出ないようにすることも必要な道路を整備する上で大切と考えます。
- ・ 平成21年度から道路特定財源が一般財源化されるが、地方における道路整備のニーズが依然高いことを念頭に地方の道路整備の推進に大きな役割を果たしてきた地方道路整備臨時交付金を継続するのか、また、同等の代替制度を策定するのか、道路整備の財源について確保して頂きたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②－１ 地域の現状と抱える課題

京都府 木津川市

○現状

木津川市は、昨年３町が合併してできた新市であり、旧３町を結ぶ道路ネットワークが整備されていない。

３町が一つの市としての一体性を早急に形成する必要がある。
新市のめざすべき将来のまちづくりの総合計画を策定中である。

○課題

新市の総合計画を策定して、市の一体性を形成するために、道路ネットワークを早急に整備する必要があります。

また、本市は、関西文化学術研究都市としての開発も進んでおり、京都南部の中核都市としての役割を果たすためにも道路ネットワークの整備は必要不可欠であります。

今後の道路行政についての意見・提案

様式③

②－２地域の目指すべき将来像

京都府 木津川市

本市は、昨年に３町が合併してできた新市であることから、現在、策定中の総合計画の中において 『水・緑・歴史が薫る文化創造都市』～ひとが輝き ともに創る 豊かな未来～ をキャッチフレーズにまちづくりを進めています。

本市は、市内の中心を木津川が貫流していることから緑豊かな地域であり、市内には、恭仁京跡などを始めとする歴史的文化遺産が数多く残っており重要な観光資源となっております。

また、市西部地域においては、国家プロジェクトである関西文化学術研究都市の開発が進み、企業誘致を推進していることから、京都南部地域の中核都市として発展が望まれています。このような本市においては道路ネットワークの整備が必要不可欠であると考えています。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表例、期待する効果や評価等）

京都府 木津川市

○重点事項 道路ネットワークの早期整備	○代表事例 関西文化学術研究都市の開発地区である木津中央地区と国道24号、国道163号とをアクセスする都市計画道路「天神山線」、「東中央線」、「東中央線（木津川架橋）」の早期事業着手を要望しています。	○期待する効果や評価等 当該道路は、国道24号と国道163号の重複区間の交通渋滞の緩和と、道路ネットワーク整備として関西文化学術研究都市である木津中央地区と国道などの幹線道路をアクセスする事により企業誘致などを有利に進めることができ、新市の発展に必要不可欠な道路として期待しているところです。	○その他 この道路が整備されることにより京都南部地域の中核都市としての役割を十分担って行けるものと考えています。
--------------------------------	---	---	---